

放射性物質の測定結果

放射性物質濃度(単位:主灰および飛灰【注1】Bq/kg,排ガスBq/m³N)

	採取日 (天候)	項目	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性セシウム 合計【注2】	検出 下限値
4月	10日(曇)	主灰	不検出【注3】	9.5	21	30.5	7.2・7.7・7.5
		飛灰	不検出	54	160	214	12・8.7・10
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
5月	19日(曇)	主灰	不検出【注3】	不検出	29	29	8.3・9.6・7.5
		飛灰	不検出	60	240	300	14・13・9.7
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
6月	25日(晴)	主灰	不検出【注3】	不検出	30	30	8.9・8.9・7.9
		飛灰	不検出	42	170	212	12・12・9.8
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
7月	3日(晴)	主灰	不検出【注3】	不検出	21	21	9.1・9.9・7.8
		飛灰	不検出	51	170	221	10・10・9.3
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
8月	26日(雨)	主灰	不検出【注3】	不検出	19	19	11・8.8・6.4
		飛灰	不検出	41	180	221	17・11・11
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
9月	17日(雨)	主灰	不検出【注3】	8.2	34	42.2	13・7.1・6.8
		飛灰	不検出	43	180	223	18・13・10
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
10月	14日(晴)	主灰	不検出【注3】	不検出	18	18	16・11・7.8
		飛灰	不検出	46	180	226	20・13・10
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
11月	18日(晴)	主灰	不検出【注3】	不検出	24	24	9.6・8.9・8.6
		飛灰	不検出	29	120	149	15・11・10
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
12月	3日(曇)	主灰	不検出【注3】	不検出	26	26	8.0・7.9・8.8
		飛灰	不検出	32	130	162	10・11・7.6
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
1月	8日(晴)	主灰	不検出【注3】	不検出	17	17	15・9.4・8.8
		飛灰	不検出	30	110	140	18・14・13
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
2月	17日(晴)	主灰	不検出【注3】	不検出	不検出	-	11・11・10
		飛灰	不検出	30	120	150	12・13・8.4
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2
3月	29日(晴)	主灰	不検出【注3】	不検出	13	13	6.6・7.6・7.6
		飛灰	不検出	29	160	189	10・12・12
		排ガス(煙突)	-	不検出	不検出	不検出	2

【注1】

主灰とは燃やしたごみの燃えがらのことです。飛灰とは、ろ過式集じん機で捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)で、主灰に較べセシウムが濃縮されます。

【注2】

放射性セシウムの合計値が8000Bq/kg(国が示した安全が確保できる放射性セシウム濃度の目安)以下である清掃センターの焼却灰(主灰および飛灰)は、日の出町の二ツ塚廃棄物広域処分場のエコセメント化施設へ搬入して、全量が再利用されます。

【注3】測定値が検出下限値未満の場合「不検出」と表記

【注4】測定方法

平成24年1月1日から「放射性物質汚染対処特措法」に基づき、排ガス(煙突)の測定項目が放射性セシウムに限定され、測定頻度が1回/月となりました。

測定項目		測定頻度	測定方法	測定機器
焼却灰 (主灰・飛灰)	放射性ヨウ素131 放射性セシウム134・137	1回/1か月	清掃センターで採取した試料を検査機関で測定	ゲルマニウム半導体検出器
排ガス(煙突)	放射性セシウム134・137			